

連続的シグマトロピー転位を用いた天然物合成

千田 憲孝 先生

慶應義塾大学名誉教授



日時：令和7年10月20日（月） 15:30～

場所：R1棟 第1会議室

千田先生は、キラルなアリルアルコールを起点とする [3,3]シグマトロピー転位の不斉転写を利用し、C-N結合やC-C結合を効率的に構築する新手法を開発されています。特にアリルビシナルジオールへの応用により、連続的な転位反応が可能となり、天然物合成に強力な戦略な方法論となります。本講演では、連続的Claisen/Claisen転位を鍵とするモルヒネ合成や、Overman/Claisen転位を用いたネオステニン合成など、最先端の研究成果をご紹介します。奮ってご参加ください。